受付番号
R112050157

守屋酒造株式会社

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

事業テーマ

地域地場産業を守る！高品質化対応設備導入による酒造高度化事業





・本事業への取組みの経緯・目的

日本酒の選定には、「味わい」を重視する傾向が７割を占め、「酒蔵」への関心も多いです。反面、特定名称酒に通じる日本酒の好きなかおりは「爽やかさ」や「フルーティー」が上位を占め、味わいに通じる「ふくよか」「熟成感」を20ポイント以上上回っています。

上記のような環境において、弊社の強み「味わいの日本酒」を活かして、市場ニーズに対応した新展開を図るためには、「味わい」と「かおり」の両立した安心安全で高品質な地酒を製造できるかが課題となっています。

・実施内容

A　高効率プレートヒーターの導入：

火入れ工程を高効率プレートヒーターに刷新することで処理速度の短縮、誤差の少ない温度管理の実施から、酒本来の味わいを維持できます。

B　瓶詰め（充填）工程、封緘（打栓）工程の刷新：

フレキシブルブル充填打栓機の導入により処理速度を劇的に改善し、弊社の問題点「かおり」の封入を進め、全体の製造工程を安定的、かつ短縮することができます。



事業実施の成果

本件を実施したことで　安心安全な酒造りを大きく前進させることができました。

長年酒業界では清酒特有の火落ち菌は最大のリスクととらえており、そのリスクを的確にかつ大幅に減少できるプレートヒーター導入による温度管理は、品質の向上に大きく寄与します。またその後工程の連続式の充填打栓機の導入で製品としての香りの向上を含め弊社の強みである地場米仕込みの特徴をより端的にお届けすることが可能となりました。

今後の展望

厳しい内外環境の中で新たな活路を見出す取り組みとして、本事業によって生産設備の増強を図り、観光蔵としての九十九里の地酒「舞桜」の劇的な品質向上と品質安定化を通じて、他の企業のモデルとなるような取り組みとなります。

また、生産性向上による成果は社員の給与増加として還元して参ることで、地域経済の雇用創出・賃金上昇に資する取り組みと致します。



社長の一言



伝統産業ではその歴史の長さ故、大きな改革を試みることが少なく、本件を通しての取り組みは意識の変革等も含め大変有意義なものになりました。

原材料の米価の高騰の中、安心安全な酒造りに取り組め、製品の劣化によるコスト増を抑えられていること、それに伴う地域のお土産産品としての需要創設、雇用創出、賃金の上昇原資として役に立っています。

企業データ

主な事業・業種	10 飲料・たばこ・飼料製造業
得意分野	酒造
所在地	千葉県山武市蓮沼ハ２９２９番地の２
TEL	0475-86-2016
FAX	0475-86-2173
設立	1953年10月
代表者	守屋　雅博
従業員数	7人
資本金	10,000,000 円
売上高	50,000,000円
URL	https://maizakura.com/
Email	info@maizakura.com